

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

令和元年 9 月 9 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	横山実玖歩

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
静岡県浜松市・アクトシティ浜松
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
第 8 回 多元質感知 領域班会議
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
令和元年 9 月 1 日 ~ 令和元年 9 月 3 日 (3 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
半年に一度おこなわれる、新学術領域研究「多元質感知」の領域班会議に参加した。口頭での研究発表と、ポスターセッションがあり、各班の代表者が研究の進捗具合を報告していた。班会議への参加は初めてであり、心理学だけではなく、脳科学、情報学、工学など様々な領域で質感を研究している研究者の方々のお話を聞くことができた。質感が、人間の認知を探る 1 つの手段であるだけにとどまらず、3D プリンターや視覚・聴覚に障害をもつ方の生活を豊かにする技術、さらには芸術などにも深く結びついており、様々な分野で重要視されつつある新しい研究領域であることを知った。比較認知科学の側面から質感について研究することは、ヒトの感覚器官や機能の進化を探るとともに、大きく異なる環境で生活している動物がどのように身の回りの物体の情報を得ているかを知ることに繋がる。今回たくさん頂いたアドバイスを参考に、今後の自分の研究を進めていきたい。
6. その他 (特記事項など)
本会議には PWS の支援を受けて参加しました。お礼申し上げます。